

水道管の凍結にご注意を！

気温が氷点下になると、水道管が凍って水が出なくなったり、ひどいときには破裂することもあります。

近年では平成 28 年に記録的な大寒波により、多くのご家庭で漏水の被害が出ました。

（ 最低気温が -4°C 以下のときは要注意！ ）

宅地内に引き込んである水道管は、お客様の財産です。

破損したときの修理代 漏水時の水道料金は自己負担となります。

その 1

蛇口から水を少量（割り箸 1 本分）出しておく。

【目安：一晩で浴槽一杯分程度】

- ① 出した分も水道料金はかかるので出しすぎには注意しましょう。
- ② 容器等に貯めて、掃除や洗濯に有効活用しましょう。



他の対策方法は
こちらから
ご確認ください。



その 2

市販の水道管用保温カバーや布で覆い、
上からビニールテープで巻く。

凍結した場合は...

凍結した部分にタオルや布を被せて、その上からゆっくりと
『ぬるま湯』をかけましょう。

熱湯は絶対にかけないでください。



（ 漏水してしまったときは ）

漏水の確認方法

- ① 家中の蛇口を全部閉める。
- ② メーターボックスを開けて、水道メーターのふたを開ける。
- ③ 中のメーターのパイロットが動いていないか、しばらく確認する。
- ④ パイロットが回転している場合は、漏水しているので、早急に修理する。

水道メーター
パイロット▶



その 1

漏水してしまった時は、慌てずに
『元栓』（メーターボックス内などに設置）を閉める。

- ① 元栓の場所が分からない時・閉めても水が止まらない場合は、
企業団の担当窓口にご連絡下さい。

その 2

漏水部分をテープなどで応急処置をして、
指定店に修理を依頼する。

- ① 修理費用についてはお客様のご負担になります。
費用は工事内容及び工事店によって異なりますので、
詳しい内容は直接依頼される指定店にご確認下さい。



『指定給水装置工事事業者』（指定店）一覧

<https://www.sagaseibu-suidou.or.jp/main/79.html>



開閉にマイナスドライバー等が
必要な場合があります。